

○学校の様子

- ・2月9日(金)小学生対象のプレ授業と部活動見学会があった。
- ・2年生職場体験学習で杉久保デザインを体験先に選んだ生徒が、寄贈された「桜」の絵画のフレームを作成した。
- ・来年度から使用される食の創造館のお披露目があった。
- ・1年生の職業講話は小田嶋さんの協力もあり、地域の方に講話の依頼をした。

○情報交換

「海老名中学校」の生徒の気質「おとなしい」「いい子でしようとする」について
「いい生徒」に囲まれて先生たちは…

小田嶋さん

- ・子供を伸ばすために、厳しい指導をしようとするに対してクレームをいう保護者がいるので、先生たちもやり辛い。
- ・子どもたちが学校の愚痴を言ってくる代の生徒たちが昔はいた。(今はいない)

今井さん

- ・いまの子どもたちは失敗経験が少ない。
- ・大学では答えが一つでない問題をたくさん出すようにしている。→それが大切だと思う。
- ・海老名中学校の生徒は気質が穏やかで、塾の先生もその点を心配している。
- ・知らない親・先生同士が薄くでもしっかりとつながっていくことが大事だと思う。

谷川先生

- ・自分が校長の時にも感じたが、親の要求水準がとても高く、それに答えていなくてはならない。

小坂教頭

- ・生徒たちは大人としての解答をしている。とても賢い。
- ・よい子どもたちをもっと伸ばしていきたい。

梶山校長

- ・他市では荒れてきている現実もあり、今のままだと若い先生は対応することができなくなっている。
- ・よい生徒をもっと伸ばせるような教育活動をしたい。
- ・先生方にも良い生徒をもっと伸ばせるようにスキルアップを図りたい。

山田さん

- ・厳しい指導をすることも大事であるが、一方でそれについていけない生徒がいることも把握しておかなくてはならない。

真壁さん

- ・よい生徒たちが増えてきて、先生の指導が少なくなっている。
- ・先生たちがスルーしている(経験不足)
- ・家庭暴力が増えている。
- ・警察もハラスメントの対応で優しくなっている。

○令和6年度 学校経営について⇒承認いただきました。

アドバイスとして…

- ・「信頼」について⇒日頃の教育活動の積み重ねが大切である。信頼される言動は日々考えていかなくてはならない。
- ・「自ら学び」⇒今の子どもはなかなか自分で考えようとしない。タブレットの普及もその原因の原点の1つではないか。
- ・「指導することについて」⇒(大学での指導)を見ている、指導が苦手な先生は行動を正そうとしすぎてしまう傾向がある。生徒をわかろうとしていない。生徒の行動をまず、理解するところから始めていきたい。